

# Top Interview

に取り組みます。まずは、マイナンバーカードの普及促進を図るとともに、各種証明書の発行にかかる手数料のキャッシュレス決済を導入いたします。小中学生に配備された「一人1台パソコン」を効果的に活用するため、ICT支援員の配置を拡充し、児童生徒や教職員への支援を充実させます。

子どもとその家庭、妊産婦の福祉充実のため、総合的なソーシャルワーク機能を担う「子ども家庭総合支援拠点」を設置するとともに、複雑・多様化する相談対応や支援を行うため「児童相談システム」も導入いたします。

## 「つながりを大切にしたい 「しなやかな人」づくり

郷土に愛着と誇りを持ち、思いやりの心を持って周囲と協力することができる子どもの育成や、対話によって主体的に未来を切り拓いていく市民が育つことを目指してまいります。そのため、青少年リーダー育成事業「御前崎クエスト」など、地域資源を生かした学びの場を作ります。また、

子どもたちの生活習慣の安定を図るため、スクラムスクール運営協議会の活動を強化し、子どもたちの健やかな成長を支援する環境整備に努めてまいります。

大人の学びの場として、「学びの航海図」により市民の主体的な学びを支援してまいります。地区センターを拠点とした地域の特色を活かした新たな活動の創出など、地域コミュニティ活動の推進も強化してまいります。

## 「希望」を持ち健康で安心して暮らせるまちづくり

市民の「食」に対する理解を深めるとともに、バランスの良い健康的な食生活への改善などを提案するため、本市の食材を使用した「食のレシピコンテスト」を開催します。また、健康づくりの拠点となる市民プールなどの体育施設を改修し、運動ができる場の提供とスポーツ振興に注力します。

新型コロナウイルスのワクチン接種を円滑に実施するため、庁舎内に「新型コロナウイルス接種対策室」を設置し、

国や県からの情報を迅速に収集し、的確に事業を遂行してまいります。

高齢者福祉については、各地区協議体や運動指導士、高齢者サロンを主宰するボランティアの皆さまにご協力いただきながら、自立支援のための効果的な介護予防を引き続き推進してまいります。

## 地域資源の活用による「魅力の発信」に「ぎわい」の創出

昨年延期となった「灯台ワールドサミット」を11月に開催し、灯台の歴史や文化を市内外に発信してまいります。また、観光物産会館となぶら市場を一体とした観光拠点にするため、リニューアル工事を実施し、観光交流客数の増加を図ります。

今年、御前崎港は開港50周年を迎えます。港のあるまちが育んだ歴史や文化を伝承するとともに、地域の活力と世界につながる「物流・人流」の賑わいの実現に向け、各種イベントを実施することで御前崎港の魅力向上を図ってまいります。

昨年度、新たに6産品を認

定し、計11産品となった御前崎ブランドについては、観光事業と連携しながら市内外での認知度向上を図るとともに販路・消費拡大や地産地消の推進を図ってまいります。

若者の働く場と企業の雇用確保を支援するため、「リターン就職支援プロジェクト制度」を昨年度に創設しました。今後も学生への支援や雇用の安定、定住を促進してまいります。

国民健康保険特別会計については、今後も病気の予防や早期発見につながる特定健診、人間ドックなどの保健事業の推進を図り、被保険者の皆さまが安心して医療を受けられる制度となるよう、適切な運営に努めます。

令和3年度から「第8期介護保険事業計画・第9次高齢者福祉計画」がスタートします。団塊の世代が後期高齢者となる令和7年を見据え、超高齢社会に対応できる「地域包括ケアシステム」の深化と推進に取り組みます。

皆さまから寄せられた期待にお応えするため、市政運営に全力を傾注する所存です。